

2023年12月 (株)三越伊勢丹ホールディングス 国内百貨店事業 売上速報



2024年1月4日

■2021年4月から収益認識基準の適用がスタートいたしましたが、売上速報・売上確報で開示する国内百貨店事業の売上につきましては従来の総売上高で開示いたします。

国内百貨店事業 売上

(株)三越伊勢丹 店舗	前年比	4-12月累計
伊勢丹新宿本店 店頭	113.7%	117.2%
三越日本橋本店 店頭	109.3%	110.1%
三越銀座店	123.0%	137.0%
伊勢丹立川店	109.1%	107.9%
伊勢丹浦和店	103.2%	105.1%

	前年比	4-12月累計
(株)三越伊勢丹 計 ①	113.1%	116.9%

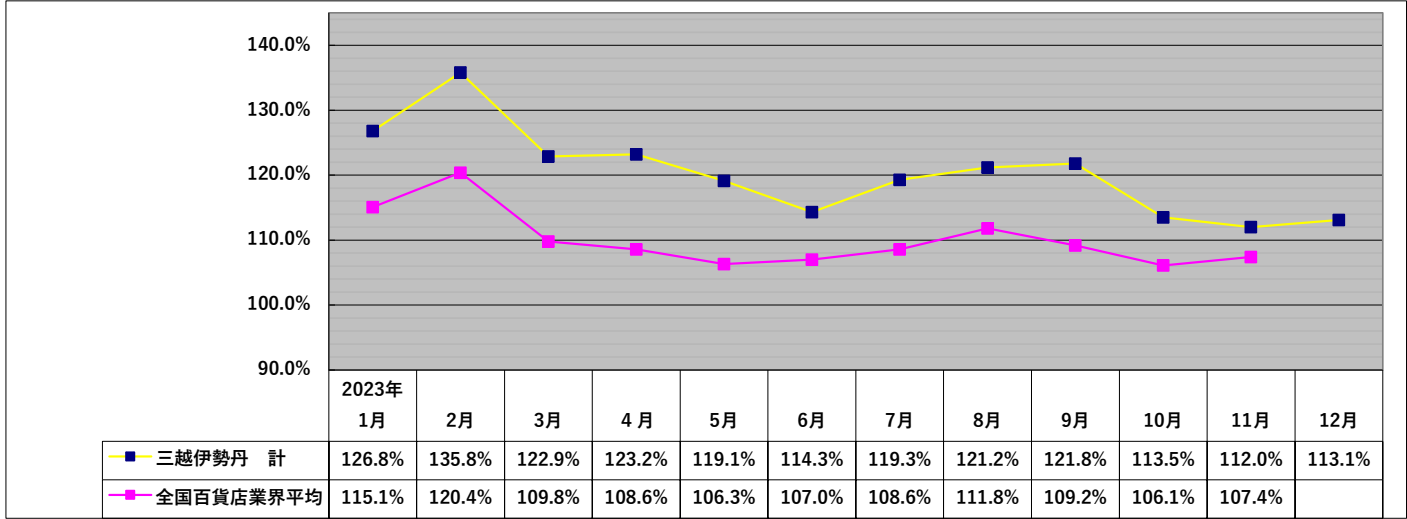
グループ百貨店事業会社	前年比	4-12月累計
札幌丸井三越	104.9%	110.2%
函館丸井今井	100.7%	102.0%
仙台三越	101.9%	101.5%
新潟三越伊勢丹	105.1%	102.4%
静岡伊勢丹	97.0%	97.4%
名古屋三越	105.8%	107.4%
広島三越	92.9%	96.3%
高松三越	100.9%	102.6%
松山三越	95.7%	95.1%
岩田屋三越	112.0%	112.2%

	前年比	4-12月累計
国内グループ百貨店 計 ②	105.9%	107.0%

	前年比	4-12月累計
国内百貨店 計 (①+②)	110.3%	113.1%

過去1年間の月別売上高（前年比）推移 [三越伊勢丹・全国百貨店業界平均]

※数字は速報値です。三越伊勢丹計は既存店計の実績です。



概況

○伊勢丹新宿本店・三越日本橋本店・三越銀座店を中心に、引き続き高付加価値商品の売上が牽引し、売上前年比は(株)三越伊勢丹計で113.1%、国内百貨店計で110.3%であった。また、両本店・三越銀座店の3店舗共に6ヵ月連続で2018年度を上回る実績で推移している。

○外出機会が増えオケーションニーズが高まり、両本店では冬物衣料品ではジャケット、セーター等、雑貨ではハンドバッグ、財布、靴、そして宝飾や化粧品等の売上が伸長した。様々な独自性の高いイベント開催も集客につながり、売上を牽引。また、伊勢丹新宿本店ではラグジュアリーブランドやデザイナーズブランドを中心に春夏の新作も好調な動きが見られた。

○免税売上は11月に続き、国内百貨店計（既存店）で単月の過去最高売上高を大きく更新した。全体傾向と同様にラグジュアリーブランドのハンドバッグ、財布や宝飾・時計、化粧品など高付加価値商品への関心が高い。

お問い合わせ先

【三越伊勢丹ホールディングス 広報担当】TEL：050-1704-0684
【同 IR担当】TEL：080-7577-7640/090-8593-0298/080-2082-2767/080-2082-2777